新発想、動物の力借りて

カード使って会議を活性化

「ラバ」→組み合わせ予想外

「アリ」→役割分担しっかり

「クラゲ」→材料・素材を再考

柔軟な発想が必要と言われても、なかなか従来の考え方の枠組みを抜け出せないのが人間。いっそ他の動物の知恵を借りてみてはどうだろう。動物の描かれたカードを使い、その特徴をもとにアイデアを生み出そうとする「アニマル・シンキング」という発想法が関心を集めつつある。めまぐるしく経営環境が変わる時代、新たな事業や製品のヒントを求め、企業などが導入に動いている。

独化学大手BASFの日本法人、BASFジャパン（東京・港）の六本木ヒルズオフィス。今年8月、20歳代から50歳代までの社員23人が会議室に集まりアニマル・シンキングを導入したミーティングを開いた。テーマは自動車向け製品の開発・販売方針だ。

まず引かれたカードは「ラバ」。馬とロバの混血であるラバは、この発想法では「予想外の組み合わせを作る」を意味する。次のカードは「アリ」。女王アリや働きアリなどの行動から「役割分担で周りを生かす」意味となっている。社員はカードを見ては「組み合わせ」や「役割分担」などについて、思いついたことを次々と口にする。

こうして議論が活発化したなかで、「電気自動車を、住宅や配電網と結びつけるための製品を開発する」という案が形になり、早速、BASFグループのアジア・太平洋地域での事業戦略での製品開発案として提案されることとなった。

ミーティングを主導したオートモーティブ日本ゼネラルマネージャー田中井俊史氏は「（この発想法で）固定概念を壊す必要があった」とし、活性化した会議に手応えを感じている。

アニマル・シンキングは約15年前にイスラエルの女性2人が編み出した発想法。シマウマやチョウも含む75種類の動物の行動の特徴を利用し、柔軟なアイデアを引き出すことができるという。今では世界10カ国・地域でIT大手やホテルなどが採用している。

学校経営にもアニマル・シンキングを取り入れる試みが国内で出ている。独立行政法人教員研修センター（茨城県つくば市）がこの夏2回開いた研修会。校長やベテラン教師など計260人が参加した4泊5日の日程の初日に、アニマル・シンキングの実践練習が採用された。

同センター研修企画課の鈴木実氏は「社会が中学校や高校に求めるニーズは日々変わっている。新しい発想で学校経営に取り組んでもらいたい」と期待を込める。研修会後、全国10校以上の学校が来年度以降の導入検討を始めたという。

企業や学校で「斬新なアイデア」が必要とされるが、会議では面白い提案が出にくい――。こんな現実が「動物の発想法」への関心を国内で広げているようだ。11月中旬に都内で開かれた講習会には企業や大学から8人の男女が集まった。

「カードを使って今までにないフォークのアイデアを出し合いましょう」。講師が声をかける。

「材料・素材を考える」を意味するクラゲのカードを引いた女性は「それ自体も食べられる素材にしたフォークを作ってみては」と提案。次々とアイデアが続いた。

参加した会社員の女性は「カードに言わされてる感じなので気ままに思いついたことが言える」と好感触を示した。

講習会を主催する人材開発コンサルティング会社イマージェンス（東京・新宿）の桑畑英紀社長は「動物のイメージを使った分かりやすさが強み」と話す。昨年1月の開始から講習会に1000人弱が参加した。

最近どうも元気のない日本。「今までのやり方ではダメ」と人々は新しい考え方を探している。動物たちはどう見ているだろう。（武田健太郎）

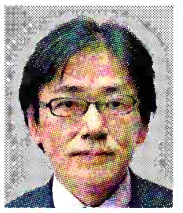
「アニマル・シンキング」で使う動物の行動の例

動物	行動や特徴
シマウマ	矛盾を受け入れる
トカゲ	不可欠なものを手放す
コウモリ	従来の考え方をひっくり返す
キリン	一部分の大きさを変える
チンパンジー	マネをして少し変化をつける
クジャク	見た目・色などを変える
ラバ	予想外の組み合わせを作る
アリ	役割分担で周りを生かす
チョウ	成長とともに変化する
ハチ	周りを生かす
クラゲ	材料・素材を考える

アニマル・シンキングを導入しようと講習会には企業や大学の関係者が集まった（11月、東京都中野区）

クリエーティブシンキング

「考える社員」つくる



産能大総合研 大神賢一郎教授

アニマル・シンキングをはじめ、柔軟な発想法「クリエーティブシンキング」を採用する企業は多い。その現状などを、産業能率大学総合研究所の大神賢一郎教授に聞いた。

――クリエーティブシンキングとはどんなものか。

「効率的にアイデアを生み出すための手法。会議などでテーマについて思いつくまま自由に発言する『ブレインストーミング』などが代表例に挙げられる。情報を分類・整理して問題解決に役立てる『ロジカルシンキング』などと並行して使われることが多い」

――なぜ今、注目されるのか。

「技術や生産性の優位性だけでは国際競争に勝てないと気付いた日本の企業が、ニーズを早くつかむ『考えられる社員』の育成に動き出したからだろう」

――導入の際に注意すべき点は。

「新しいアイデアを組織全体が受け入れる環境が必要になる。ある部門が斬新な製品を考えても、他部門が反対することはよくある。一方で、1つの発想法に頼ってしまうのも問題だ」

主な「クリエーティブシンキング」の手法

名称	特徴
ブレインストーミング	思いついた意見を自由に言い合う代表例
アニマル・シンキング	動物の特性を発想のヒントにして議論
チェックリスト法	質問項目に答えながらアイデアを膨らます
希望点列挙法	こうなってほしいという願望をもとに発想

(C)日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。